



まひる

美郷町立千畑小学校

夢ここに つながる心 ふみ出す一歩

学校報 No. 20

令和3年9月3日

読み聞かせ・昔っこ

学校では、読書への関心を深めることや、方言に触れることで民話の楽しさを味わうことをねらいとして、読み聞かせと昔っこをおこなっています。

読み聞かせは「しゃぼん玉の会」の皆様から毎月1回ずつ、昔っこは「美郷民話の会」の皆様から各学年で年間1回ずつ、おこなっていただいています。

子供たちは、この時間を楽しみにしていて、本や民話の世界に引き込まれ、集中して聞いています。

「しゃぼんだまの会」や「美郷民話の会」の皆様をはじめ、地域の方々のご協力に感謝しております。



本を寄贈していただきました

7月に秋田大学教育文化学部同窓会である旭水会の千畑地域の方々から、本を寄贈していただきました。今回は、子供たちが考えることの楽しさを味わうことができるように、クイズの本をお願いしたところ、下のように「東大ナゾトレ ドリル」を6学年分寄贈していただきました。

読書の時間だけでなく、ドリルタイムや家庭学習など、様々な場面で活用させていただきたいと思っています。ありがとうございました。



ミスモの日（ノー電子メディアチャレンジデー） 振り返りから

毎週水曜日は、ミスモの日として「ノー電子メディアチャレンジデー」に取り組んでいただいております。8月25日で2枚目の「ふりかえりカード」が終わりました。各ご家庭でしっかりと取り組んでいただいているようです。5年生のご家庭から届いた感想をお知らせいたします。

- ノーメディアデーは、ゲームやユーチューブを見なくなりました。目を休めることができ、とても良いと思います。これからも続けていきたいと思います。
- 夏休み中は、学校の図書室から借りた本を読んだり、新聞を読みながら会話をしたりして過ごしました。
- “毎週水曜日はミスモの日”という意識をもつことが回数を重ねるごとに根付いてきたように感じました。自分から率先して「今日はゲーム禁止の日だね!」と言って、ゲームをせずに勉強に取り組んだり、家族との会話の時間が増えたりと、いい効果が出てきているように思います。
- 自分なりにゲームなどする時間に気をつけていました。無理せず、うまくネットなどにつき合っていけたらいいです。
- ミスモの日は、帰ってくるとすぐに家庭学習に取り組んだり、家の手伝いをしてくれたりと注意することもないので、笑顔での会話も増えます。寝る前にユーチューブを見ることもないせいか、夜の寝付きも良いように思います。
- 今までと実施した時間は同じですが、声かけをしなくても自分から進んでとりくんでいました。少しずつノー電子メディアチャレンジのあり方が分かってきていると感じています。これからもつづけられるようにしていきたいです。
- ゲームをする時は、今日は何時まで遊ぶのかを本人に決めさせていました。私たちが、もう止めるように言うと機嫌が悪くなりますが、自分で決めた時間に対して、時間になったことを伝えると素直に中断してくれました。

ご家庭からの感想には、ノー電子メディアチャレンジデーの取組によって、家族の会話やふれ合いが増えたという嬉しい言葉がたくさんありました。また、ノーメディアへの取組について、よりよくするための工夫もあります。各ご家庭でも、参考にいただければと思います。

また、美郷町の幼小中の先生方で組織している「美郷町教育を考える会」で、ノー電子メディアチャレンジデーの取組についての確認を行いました。その中で、「家族のふれ合いの時間を増やすこと」「電子メディアの適切な利用の仕方を身に付けること」が目的であること。テレビは、「気象情報やニュースなど、視聴する必要があることが多い」「番組によっては、家族団らんの一助となっている」等の理由から、テレビを対象とするメディアから除外することとしました。

今年度の水泳学習が終了しました

9月3日（金）で、今年度の水泳学習が終了しました。子供たちは、水泳検定カードの項目を1つでも多くクリアしようと、頑張っていました。

後日、各学年から水泳検定の結果が届くと思います。是非、子供さんの検定カードを確認し、たくさん褒め、たくさん励ましてあげてください。

